

News Release

スタントマンを活用して交通事故をリアルに再現した『生徒向け自転車交通安全教室』

広く交通安全教育現場で活用できるようDVD映像化

『自転車月間』に併せて、5月上旬から全国の警察本部等に寄贈開始

JA共済連(全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 横井 義則)では、交通事故未然防止活動の一環として、全国の中学・高等学校でスタントマンを用いて交通事故の恐怖を疑似体験してもらう「生徒向け自転車交通安全教室」を開催しています。この度、同交通安全教室のDVD映像を制作し、広く交通安全教育現場で活用できるよう、5月上旬から、JA共済連の各都道府県本部を通じて、全国の警察本部等に順次寄贈します。

■ JA共済 生徒向け自転車交通安全教室について

自動車共済・自賠責共済を提供するJA共済では、平成21年度から、全国の中高生を対象とした自転車交通安全教室を開催しており、平成26年4月末現在、延べ516校で実施しています。

この自転車交通安全教室は、映画やドラマ等で活躍するプロのスタントマンが生徒の目の前で自転車交通事故を再現することが特長で、事故の衝撃や恐怖を疑似体験するスケアード・ストレイト教育技法を用いて生徒に自転車ルール順守の重要性を呼びかけています。

※スケアード・ストレイト教育技法 ……恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法。

■ DVD化の経緯について

同教室は、連携して開催する警察や学校関係者から高い評価を受ける一方、予算やスケジュールの都合で実施できない学校や関係団体等から映像化の要望が多く寄せられていました。

また、本年3月には、警察庁から「自転車月間」(5月)における自転車の安全利用に向けた活動強化にかかる協力要請があったことを受け、JA共済連では、広く交通安全教育現場で役立てていただけるように「生徒向け自転車交通安全教室DVD」を作成しました。

内容は、同教室の模様に加え、自転車や自動車の運転者の視点からの映像や俯瞰映像を交えて事故の発生原因などを解説したもので、5月上旬からJA共済連各都道府県本部を通じて、全国の警察本部等への寄贈を開始します。また、この映像は、JA共済の地域貢献活動ホームページに掲載しておりますので、自由に視聴・ダウンロードができます。

DVDでは、実際の交通安全教室の雰囲気だけでなく、補足映像を通じて、ひとつひとつの事故の発生原因や怖さを理解し、正しい自転車の乗り方や交通ルールを確認することができます。

JA共済連では、本DVDを通じて、生徒に対して正しい交通ルールを理解していただくことはもちろん、自転車が「車両」であることを認識し、場合によっては加害者となり、多大な賠償責任を負う可能性があることについても学んでいただきたいと考えています。



『生徒向け自転車交通安全教育DVD』収録 第6章 自転車の追突事故より

■「生徒向け自転車交通安全教育」DVD 概要

1. 名称：生徒向け自転車交通安全教育DVD
2. 仕様：DVD（1枚）
※ ハードカバーケースにDVDと補足説明ガイドがセットになっています。
3. 収録時間：オールプレイ約17分、8つのチャプター毎に再生可能

4. 収録内容：

- 第1章 自転車と車の衝突実験（約1分）
- 第2章 自転車の6つの違反行為（約3分30秒）
- 第3章 トラック左折時の巻き込み事故（約2分）
- 第4章 ルール違反によって起こる事故（約3分）
- 第5章 横断歩道での死角による事故（約2分）
- 第6章 自転車の衝突事故（約2分）
- 第7章 飛び出し自転車の事故（約1分30秒）
- 第8章 まとめ（約2分）

第1章から第7章では、それぞれ、スタントマンを用いた実際の自転車交通安全教室の様子をまとめた「紹介映像」とそれらの原因を解説した「補足映像」を収録しています。

なお、JA共済 地域貢献活動ホームページでも同様の映像を閲覧・ダウンロードできます。

（JA共済地域貢献活動ホームページ http://social.ja-kyosai.or.jp/contribution/school_mv.html）

5. 寄贈時期：5月上旬から順次
6. 寄贈先：各都道府県警察本部、他
7. パッケージ写真とDVD

